



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,360	9.7	63		158		91	
2023年3月期第2四半期	3,973	5.1	239		56		45	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 162百万円 (100.7%) 2023年3月期第2四半期 81百万円 (48.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.65	
2023年3月期第2四半期	33.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,666	6,817	70.5
2023年3月期	9,665	6,721	69.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,817百万円 2023年3月期 6,721百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		50.00	50.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.9	120		200		120		90.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,460,000 株	2023年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	129,875 株	2023年3月期	129,875 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,330,125 株	2023年3月期2Q	1,338,815 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の正常化が進み、部品供給制約の緩和を受けて回復が続く自動車生産やインバウンド需要を中心に輸出も持ち直しを見せて、経済は回復傾向となっている一方で、ウクライナ情勢の長期化による地政学リスクの顕在化や、世界的なインフレとそれに伴う各国の金融引締め政策の影響、エネルギー価格の高止まりや原材料価格の高騰など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきまして、主力事業の国内自動車用フロアーマット関連については、主要顧客である自動車業界においては、半導体不足に伴う部品供給制約の緩和から国内自動車生産の回復を受けて、国内新車販売台数が前年同四半期を上回るなど市場の景況感は改善が見られ、売上は好調に推移いたしました。産業資材関連については、浴槽蓋や公共事業向けインフラ補修用部材は順調に推移いたしました。エアコン配管用化粧カバーは徐々に閑散期へ入り、白物家電製品の受注が戻らず関連部材の売上は苦戦しており、マガジンスティックは、半導体不足が解消に向かっているものの、納品先の適正在庫調整の影響は続いております。合成木材製品については、エクステリア市場は厳しく住宅関係回日も冷え込んでいる環境下のため、低調に推移いたしました。

利益面におきましては、営業利益については、販売価格への転嫁を図り、経費削減などによって収益確保に努めてまいりましたが、原材料価格の高騰および円安進行に伴う自動車用フロアーマットの輸入コスト上昇の影響は大きく受けることとなりました。また、経常利益については、当第2四半期連結会計期間末の円安に伴い、営業外収益において、当社が保有する外貨建債権債務の期末換算レートによる評価替えで為替差益87百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43億60百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は63百万円（前年同期は営業損失2億39百万円）、経常利益は1億58百万円（前年同期は経常損失56百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は91百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失45百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、96億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して755千円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して88百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1億98百万円、受取手形及び売掛金の増加1億79百万円、棚卸資産の増加2億15百万円、未収入金の減少31百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して87百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加46百万円、投資その他の資産の減少1億40百万円、によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、28億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して95百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億55百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加65百万円、電子記録債務の増加40百万円、短期借入金の減少2億1百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して59百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加47百万円、退職給付に係る負債の増加10百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、68億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して96百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加24百万円、為替換算調整勘定の増加77百万円、退職給付による調整累計額の減少12百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14億98百万円と前連結会計年度末と比較して1億98百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益が1億58百万円、減価償却費1億59百万円、賞与引当金の増加18百万円、退職給付に係る負債の増加19百万円、為替差益11百万円、売上債権の増加1億52百万円、棚卸資産の増加1億52百万円、和解金の支払額90百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における資金の収入は35百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して78百万円の収入減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出1億64百万円、保険金の積立による支出12百万円、保険積立金の解約による収入95百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は74百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して1億84百万円の支出減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の減少額2億1百万円、長期借入による収入1億68百万円、長期借入金の返済による支出1億3百万円、配当金の支払額67百万円により、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は2億4百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して91百万円の支出増加となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想については、2023年8月9日に公表しました通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,696,706	1,498,139
受取手形及び売掛金	1,657,659	1,837,597
商品及び製品	828,492	1,107,831
仕掛品	193,065	143,993
原材料及び貯蔵品	795,109	779,982
未収入金	127,104	95,949
未収還付法人税等	31,320	—
その他	141,551	96,178
流動資産合計	5,471,009	5,559,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	715,530	892,045
土地	1,842,844	1,842,844
その他（純額）	733,867	603,600
有形固定資産合計	3,292,242	3,338,491
無形固定資産		
土地使用権	209,240	222,730
その他	46,240	38,809
無形固定資産合計	255,481	261,540
投資その他の資産		
繰延税金資産	95,889	50,397
その他	551,247	456,524
投資その他の資産合計	647,136	506,921
固定資産合計	4,194,860	4,106,953
資産合計	9,665,870	9,666,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	501,073	566,450
電子記録債務	314,363	354,948
短期借入金	271,600	70,000
1年内返済予定の長期借入金	268,704	285,640
未払法人税等	2,708	25,802
賞与引当金	64,605	84,058
訴訟損失引当金	90,000	—
その他	223,897	194,718
流動負債合計	1,736,951	1,581,618
固定負債		
長期借入金	785,002	832,690
繰延税金負債	35,271	35,180
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	42,254	44,210
退職給付に係る負債	62,538	73,015
その他	1,347	1,116
固定負債合計	1,207,717	1,267,515
負債合計	2,944,668	2,849,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,271,253	1,271,253
利益剰余金	3,679,976	3,704,787
自己株式	△201,480	△201,480
株主資本合計	5,991,449	6,016,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,365	33,237
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	220,088	297,222
退職給付に係る調整累計額	6,367	△6,158
その他の包括利益累計額合計	729,751	801,230
純資産合計	6,721,201	6,817,491
負債純資産合計	9,665,870	9,666,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,973,647	4,360,723
売上原価	3,333,857	3,457,380
売上総利益	639,789	903,343
販売費及び一般管理費	879,518	840,314
営業利益又は営業損失(△)	△239,728	63,028
営業外収益		
受取利息	242	194
受取配当金	1,009	883
為替差益	176,052	87,518
その他	11,807	12,887
営業外収益合計	189,112	101,483
営業外費用		
支払利息	2,556	4,381
その他	2,859	1,235
営業外費用合計	5,415	5,617
経常利益又は経常損失(△)	△56,031	158,894
特別利益		
固定資産売却益	—	301
投資有価証券売却益	2,649	—
特別利益合計	2,649	301
特別損失		
固定資産除売却損	1,058	407
特別損失合計	1,058	407
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,440	158,788
法人税、住民税及び事業税	2,802	19,040
法人税等調整額	△12,013	48,430
法人税等合計	△9,211	67,471
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,229	91,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,229	91,316

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,229	91,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,328	6,871
繰延ヘッジ損益	1,687	—
為替換算調整勘定	137,344	77,133
退職給付に係る調整額	648	△12,525
その他の包括利益合計	126,351	71,479
四半期包括利益	81,122	162,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,122	162,796
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,440	158,788
減価償却費	196,124	159,982
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,090	18,532
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,117	1,955
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,430	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,239	19,202
受取利息及び受取配当金	△1,252	△1,077
支払利息	2,556	4,381
為替差損益(△は益)	△34,924	△11,707
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,058	105
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△2,649	—
売上債権の増減額(△は増加)	345,070	△152,062
棚卸資産の増減額(△は増加)	194,506	△152,683
仕入債務の増減額(△は減少)	△536,204	12,934
その他の資産・負債の増減額	△124,419	34,012
小計	△36,738	92,365
利息及び配当金の受取額	1,252	1,661
利息の支払額	△2,625	△4,001
保険金の受取額	203,532	—
和解金の支払額	—	△90,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△51,941	35,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,479	35,109
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△262,756	△164,736
有形固定資産の売却による収入	2,877	10,215
無形固定資産の取得による支出	△12,165	△3,027
投資有価証券の取得による支出	△800	△628
投資有価証券の売却による収入	23,966	—
保険積立金の積立による支出	△11,351	△12,361
保険積立金の解約による収入	587	95,980
その他	△45	△198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,687	△74,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	10,000	△201,600
長期借入れによる収入	100,000	168,000
長期借入金の返済による支出	△85,504	△103,376
自己株式の取得による支出	△45,048	—
配当金の支払額	△91,624	△67,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,176	△204,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,184	45,192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△187,199	△198,566
現金及び現金同等物の期首残高	1,630,959	1,696,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,443,759	1,498,139

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,336,823	1,636,824	3,973,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,336,823	1,636,824	3,973,647
セグメント損失(△)	△215,049	△24,679	△239,728

(注) セグメント損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,782,458	1,578,265	4,360,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,782,458	1,578,265	4,360,723
セグメント利益	61,883	1,145	63,028

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。